



いのち支える



# いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第35号 (2024.09.05)



いのち支える自殺対策推進センター (JSCP) のニュースレターにご登録いただき、どうもありがとうございます。9月10日は世界自殺予防デー、9月10日～16日は自殺予防週間です。本号では、政府が8月27日(火)に発表した自殺対策への連携を呼びかける3大臣の連名メッセージに加え、厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁と連携した会議の開催等についてご報告します。また、JSCPが提供するこども・若者向けの啓発キット「#逃げ活」や、地域連携推進部長・小牧奈津子の「職員インタビュー」もお伝えします。

※このメールは、本ニュースレターの配信をご希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信しております。今後メールの受信をご希望されない方は、お手数をおかけし大変恐れ入りますが、[こちら](#)から配信停止手続きのほど、お願いいたします。

## <ニュースレター第35号トピックス>

1. 【自殺予防週間】厚生労働大臣、文部科学大臣、こども政策担当大臣及び孤独・孤立対策担当大臣が連名メッセージを発信【開催レポート】厚生労働省と合同で、自治体向けの研修会を実施
2. 【啓発】国際自殺予防学会の「世界自殺予防デー」標語 日本語版のバナーを公開【開催レポート】第7回 自殺報道のあり方を考える勉強会
3. 【こども・若者の自殺対策】啓発活動「#逃げ活」ツールキットを公開
4. 【開催レポート】厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁と連携した自治体向け会議
5. 【開催レポート】令和6年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 かかりつけ医版」
6. 【こども・若者の自殺対策】学校や教育委員会、保護者向けの資料集をHPで公開
7. 【メディア掲載】厚労省サイトで7月の武見敬三厚生労働大臣のJSCP事務所視察の様子が公開
8. 【JSCP職員インタビュー】地域連携推進部長・小牧奈津子

## —— 「自殺予防週間」「世界自殺予防デー」とは？ ——

### 「自殺予防週間」

9月10日～16日は自殺予防週間です。我が国で自殺予防週間が始まったのは2007年です。自殺対策基本法（2006）に基づき策定された最初の自殺総合対策大綱（2007年）において、9月10日の「世界自殺予防デー」（2003年～）からの1週間を「自殺予防週間」とすることが定められました。

### 「世界自殺予防デー」

9月10日は世界自殺予防デー（World Suicide Prevention Day）です。2003年に世界保健機関（WHO）と国際自殺予防学会（IASP）が共同で開催した世界自殺防止会議（スウェーデン・ストックホルム）の初日を最初の世界自殺予防デーとして、世界的に自殺対策に取り組む責任があると決意表明（宣言）された日です。以降、国の機関や一般の人々に対し、自殺対策の重要性に対する認識を高めるため、毎年活動が続けられています。世界自殺予防デーは年々その活動が拡大しており、最近では、60か国以上で自殺対策の啓発を目的としたキャンペーンが行われています。

■参考ページは [こちら](#)

## 1. 【自殺予防週間】厚生労働大臣、文部科学大臣、こども政策担当大臣及び孤独・孤立対策担当大臣が連名メッセージを発信

政府は2024年8月27日（火）、9月10日からの「自殺予防週間」に向けて武見敬三厚生労働大臣、盛山正仁文部科学大臣、加藤鮎子こども政策担当大臣及び孤独・孤立対策担当大臣の連名メッセージを発信すると同時に、期間中の関係機関の取り組みを公表しました。

### <メッセージ概要>

悩みをお持ちの方や困っている方は一人で抱え込まずに身近な人や、電話やSNSの相談窓口にご相談してほしい。また、身近な人の様子がいつもと違うと感じたら、声をかけてみてほしい。

特に、こどもは、長期休暇明け前後に、不安を感じたり、悩んだりすることがある。こどもたちと関わる皆様は、こどもの小さなサインに気付き、不安や悩みの声に耳を傾けてほしい。

■3大臣からのメッセージの全文は、厚生労働省のWebサイトで公開されています

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/r6\\_shukan\\_message.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/r6_shukan_message.html)

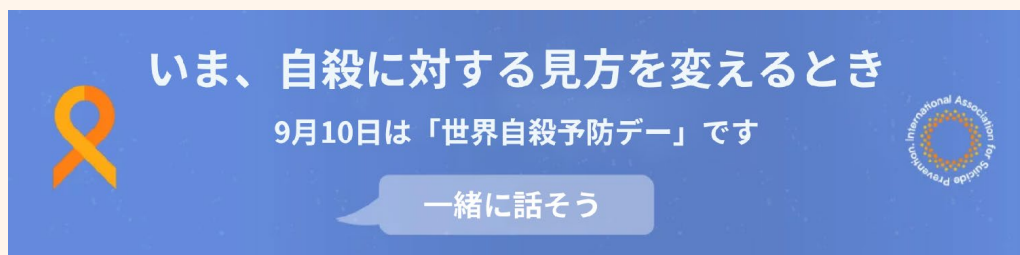
### <ポイント>

- ・自殺予防週間では、電話やSNSによる相談支援体制の拡充や、主にこども・若者に向けて、ポスターや動画による相談の呼びかけなど集中的な啓発活動を実施。
- ・自殺予防週間に先立ち、こども・若者の自殺防止に向けた取組を強化するため、こども家庭庁、文部科学省、内閣府孤独・孤立対策推進室と連携し、8月1日からこども・若者に向けた集中的な啓発活動を実施している。

■詳細は厚生労働省のプレスリリースをご覧ください

[https://www.mhlw.go.jp/stf/r6\\_jisatsuyobouboushukan.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/r6_jisatsuyobouboushukan.html)

## 2. 【啓発】国際自殺予防学会の「世界自殺予防デー」標語 日本語版のバナーを公開



国際自殺予防学会（IASP）は、2024年から2026年までの世界自殺予防デーのメインテーマを「Change the Narratives on Suicide」に、サブテーマを「Start the Conversation」に刷新しました。このテーマには自殺問題について、オープンに対話でき、共感やサポートを得られるような文化を築いていこうというメッセージが込められています。

JSCPは今回、IASPが新たに選定した標語の背景の意味を熟考し、メインテーマを「いま、自殺に対する見方を変えるとき」、サブテーマに「一緒に話そう」と翻訳しました。そして、この日本語訳をIASPに提案し、日本語の標語として採用されました。日本語版のバナーはJSCPのWebサイトからダウンロードして、自由にお使いいただけます。

### ■詳細は[こちら](#)をご覧ください

JSCPでは他にも、世界自殺予防デーや自殺予防週間に合わせて活用できるコンテンツを作成しています。

### ■自殺予防週間で活用できる啓発動画、Webサイト、ポスター等は[こちら](#)（JSCP作成）

## 3. 【こども・若者の自殺対策】啓発活動「#逃げ活」ツールキットを公開

JSCPは、長期休み明けに「こどもの自殺リスク」が高まる懸念があることを踏まえ、「生きる」ための手段として「逃げる」ことの大切さをこども・若者に考えてもらう・知ってもらう、参加型の啓発活動「#逃げ活 ～こころの逃げ場、ここにあるよ～」を企画しました。

「#逃げ活」とは、「逃げる」ことに関連する4つのテーマに合わせた自身の考えやエピソードを付箋に書き出し、台紙に貼り付けるワーク形式の啓発活動です。その狙いは、自分自身の「逃げたいきもち」を見つめ直すことや、周囲の書き込みを読んで新しい発見を得ることにあります。



すでに全国の複数の団体で開催され、40紙以上の新聞やネットメディアで取り上げられるなど大きな反響をいただいています。Webサイトでは、開催予定・実績および開催レポートを随時更新しています。「#逃げ活」の趣旨に賛同いただける団体・機関に向けて、開催に際して必要なツールキットをダウンロード形式にて無料提供していますので、ぜひご利用ください。

### ■「#逃げ活 ～こころの逃げ場、ここにあるよ～」ページは[こちら](#)

#### 4. 【開催レポート】厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁と連携した自治体向け会議

深刻な状況にあるこども・若者の自殺対策を推進するため、JSCPは2024年7月22日（月）、厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁と連携し、自治体の自殺対策担当職員と学校関係者などを対象とした「令和6年度 第1回 全国自殺対策主管課長等会議・全国児童福祉主管課長会議・地域自殺対策推進センター連絡会議」をオンラインで開催しました。当日は、全国の都道府県・政令指定都市の自殺対策主管課と地域自殺対策推進センター担当者のほか、児童福祉主管課職員や教育委員会等の学校関係者など、計約250名が参加しました。3省庁と連携した同会議の開催は、令和5年度に続いて今回が2回目です。



■レポートの詳細は [こちら](#) をご覧ください

#### 5. 【開催レポート】令和6年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 かかりつけ医版」

JSCPは2024年8月4日（日）、「令和6年度 自殺未遂者ケア研修『第1回 かかりつけ医版』」をオンラインで開催しました。本研修は、保険医療機関での業務に従事する医師、歯科医師を対象としており、全国から約200名が参加しました。本研修はこれまで終日開催のオンライン形式で実施してきましたが、今回から多忙なかかりつけ医の方々に参加していただきやすいよう、一部を事前e-learning形式の学習とし、オンラインでの研修を半日に凝縮して実施しました。

■レポート詳細は [こちら](#) からご覧ください

自殺未遂者ケア研修「かかりつけ医版」は年2回開催しており、次回は2025年2月ごろに開催する予定です。募集開始時のご案内をご希望の方や、各種「自殺未遂者ケア研修」（一般救急版、精神科救急版、かかりつけ医版）の概要、今後の開催予定、過去の開催内容をお知りになりたい方は [こちら](#) のページをご参照ください。

#### 6. 【こども・若者の自殺対策】学校や教育委員会、保護者向けの資料集をHPで公開

JSCPは、学校や教育委員会、保護者に向けて、教育現場での自殺対応に関わる資料や動画コンテンツを集めた3つのWebページを公開しています。

- [「学校・教育機関向け資料集」](#)
- [「保護者向け、自殺予防教育に関するコンテンツ集」](#)
- [「中高教職員のためのゲートキーパー研修」](#)

政府が2023年6月に策定した「こどもの自殺対策緊急強化プラン」では、「こどもの自殺の要因分析」「自殺リスクの早期発見」「自殺予防のための対応」等を主要施策とし、教育現場とのさらなる連携強化のための取り組みが進められています。

ぜひ、各自治体、学校、保護者の方々にこれらのWebページをご活用いただき、自殺対策に関する情報を収集いただくとともに、「このようにマニュアルを改善してみた」などの声をお寄せください。

## 7. 【メディア掲載】厚生労働省サイトで7月の武見敬三厚生労働大臣のJSCP事務所視察の様子が公開

2024年7月26日（金）の武見敬三厚生労働大臣によるJSCP事務所等の視察の様子が、厚生労働省のフォトレポートで公開されました。ぜひご覧ください。

■厚生労働省フォトレポート

<https://www.mhlw.go.jp/stf/photo/2024/07/ph0726-01.html>

## 8. 【JSCP職員インタビュー】地域連携推進部長・小牧奈津子

JSCPニューズレターでは、JSCPの取り組みについてより深く知っていただくため、「職員インタビュー」を随時掲載しています。今回は、地域連携推進部長・小牧奈津子です。



<プロフィール>

小牧 奈津子（こまき・なつこ）

神奈川県出身。大学院で公共政策学の視点から自殺対策についての調査研究を行い、調査の一環で、地方公共団体の非常勤職員として地域の自殺対策事業に従事した経験もある。2017年に博士の学位を取得。その後はNPO法人ライフリンク職員として、主に地方公共団体における地域自殺対策計画の策定支援や「自殺のない社会づくり市区町村会」の運営等に携わってきた。2020年4月よりJSCPに在職、自殺対策政策室長や地域支援室長などを務め、2023年4月より現職。主な著書に「『自殺対策』の政策学 個人の問題から政策課題へ」（ミネルヴァ書房、2019年）がある。

■ 小牧のインタビュー「『社会は変えられる』自殺対策を通して伝えたい」は、[こちら](#)をご覧ください

■YouTubeの「JSCP\_広報室」チャンネルで、研修動画等を順次公開中

<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■Yahoo!ニュースエキスパートで、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP広報室長・山寺が執筆）

<https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/yamaderakaoru>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 [news@jscp.or.jp](mailto:news@jscp.or.jp)



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



[https://twitter.com/JSCP\\_press](https://twitter.com/JSCP_press)

[https://twitter.com/JSCP\\_www](https://twitter.com/JSCP_www)